



平成20年12月8日

各位

株式会社ファルコバイオシステムズ
 京都市中京区河原町通二条上る清水町 346 番地
 代表取締役社長 平崎 健治郎
 (コード番号: 4671 東証・大証各第一部)
 問い合わせ先
 専務取締役企画管理本部長 安田 忠史
 電話 (075) 257-8556

(訂正) 「平成20年9月期 決算短信」の一部訂正に関するお知らせ

平成20年11月5日に発表いたしました「平成20年9月期 決算短信」の内容に一部誤りがありましたので、お知らせいたします。なお、訂正部分には下線を付しております。

記

【39ページ】

(セグメント情報)

a. 事業の種類別セグメント情報

当連結会計年度(自平成19年9月21日 至平成20年9月20日)

〈訂正前〉

	臨床検査事業 及び周辺事業 (百万円)	調剤薬局事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I. 売上高及び営業利益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上	25,823	11,637	37,461	—	37,461
(2) セグメント間の内部売上高	0	—	0	(0)	—
計	25,824	11,637	37,461	(0)	37,461
営業費用	<u>24,734</u>	10,993	<u>35,728</u>	<u>711</u>	36,440
営業利益	<u>1,089</u>	643	<u>1,732</u>	<u>(712)</u>	1,020
II. 資産、減価償却費及び資本的支出					
資産	<u>18,337</u>	<u>4,985</u>	<u>23,323</u>	<u>5,933</u>	29,257
減価償却費	<u>1,498</u>	109	<u>1,608</u>	<u>31</u>	1,640
減損損失	33	4	37	—	37
資本的支出	1,369	272	1,642	—	1,642

(注) 1. 事業区分の方法

事業は役務又は商品等の内容及び市場の類似性を考慮して区分しております。

事業区分	主要役務又は商品
臨床検査事業及び周辺事業	特殊臨床検査、一般臨床検査、食品衛生・環境検査、病院検査室の運営 電子カルテの販売
調剤薬局事業	調剤薬局の運営

2. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は715百万円であり、その主なものは、親会社の広報・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は5,933百万円であり、その主なものは、親会社の現金預金、投資有価証券及び管理部門に係る資産等であります。

〈後略〉

(訂正後)

	臨床検査事業 及び周辺事業 (百万円)	調剤薬局事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I. 売上高及び営業利益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上	25,823	11,637	37,461	—	37,461
(2) セグメント間の内部売上高	0	—	0	(0)	—
計	25,824	11,637	37,461	(0)	37,461
営業費用	<u>24,748</u>	10,993	<u>35,742</u>	<u>697</u>	36,440
営業利益	<u>1,075</u>	643	<u>1,719</u>	<u>(698)</u>	1,020
II. 資産、減価償却費及び資本的支出					
資産	<u>18,935</u>	<u>5,019</u>	<u>23,955</u>	<u>5,302</u>	29,257
減価償却費	<u>1,512</u>	109	<u>1,622</u>	<u>17</u>	1,640
減損損失	33	4	37	—	37
資本的支出	1,369	272	1,642	—	1,642

(注) 1. 事業区分の方法

事業は役務又は商品等の内容及び市場の類似性を考慮して区分しております。

事業区分	主要役務又は商品
臨床検査事業及び周辺事業	特殊臨床検査、一般臨床検査、食品衛生・環境検査、病院検査室の運営 電子カルテの販売
調剤薬局事業	調剤薬局の運営

2. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は701百万円であり、その主なものは、親会社の広報・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. 資産のうち、消去又は全社の項目に含めた全社資産の金額は5,302百万円であり、その主なものは、親会社の現金預金、投資有価証券及び管理部門に係る資産等であります。

〈後略〉

以 上